

さぎん 会社説明会

このまちで、あなたと・・・

～地域を繋ぎ、人を繋ぎ、地域の豊かな未来をつくる銀行グループ～

2025年 11月

※本編は2025年6月に開示いたしました会社説明会資料の一部について
計数に関する部分を2025年9月期の計数に置き換えたものです。

このまちで、あなたと
 **佐賀銀行**

目 次

1.	2025年度中間期損益の状況	… 2～5
2.	対顧客利益推移	… 6
3.	預貸金の状況	… 7
4.	有価証券の状況	… 8～9
5.	不良債権比率の推移	… 10
6.	自己資本比率の推移	… 11
7.	株主還元について	… 12

1. 2025年度中間期損益の状況

(1) 単体決算

(百万円)

項目		2024年 中間期	2025年度 中間期	増減額
業務粗利益	1	12,191	16,317	4,126
資金利益	2	14,085	15,165	1,080
貸出金利息	3	10,512	13,474	2,962
有価証券利息配当金	4	4,857	4,584	△ 273
役務取引等利益	5	2,809	2,772	△ 37
その他業務利益	6	△ 4,703	△ 1,620	3,083
うち国債等債券関係損益	7	△ 2,419	△ 532	1,887
経費	8	9,979	10,240	261
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	9	2,212	5,872	3,660
信用コスト	10	17	1,335	1,318
経常利益	11	5,613	6,619	1,006
当期純利益	12	4,035	4,799	764
対顧客利益	13	2,954	3,345	391

<単体決算のポイント>

- ◇資金利益
貸出金利息の増加等により、前年同期比1,080百万円増加しました。
- ◇役務取引等利益
法人コンサル関係手数料は増加したものの、住宅ローン保険料増加等により、前年同期比37百万円減少しました。
- ◇業務粗利益
上記内容に加え、外貨調達コスト減少を主因としてその他業務利益が増加したことにより、業務粗利益では前年同期比4,126百万円の増益となりました。
- ◇対顧客利益
人件費の増加等を主因に、経費が前年同期比216百万円増加するも、貸出金利息の伸びが対顧客利益の増加を牽引する結果となりました。

(2) 連結決算

(百万円)

項目		2024年度 中間期	2025年度 中間期	増減額
経常収益	1	29,071	29,800	729
経常利益	2	6,039	6,961	922
親会社に帰属する当期純利益	3	4,313	5,022	709

<連結決算の概要>

【連結決算の増減要因】

- ◇経常収益 単体経常収益 前年同期比 + 572百万円
- ◇経常利益 単体経常利益 前年同期比 + 1,006百万円
- ◇当期純利益 単体当期純利益 前年同期比 + 764百万円

1. 2025年度中間期損益の状況（つづき）

【単体】

（単位：百万円）

項 目	No.	2024年度 中間期	2025年度 中間期	前年比	備 考
業務粗利益	1	12,191	16,317	4,126	貸出金残高 +8.55%（+1,822億円）
資金利益	2	14,085	15,165	1,080	貸出金利回り 1.00% ⇒ 1.19%（+0.19%）
資金運用収益	3	15,638	18,568	2,930	
貸出金利息	4	10,512	13,474	2,962	預金等残高 +3.02%（+877億円）
有価証券利息配当金	5	4,857	4,584	△ 273	預金等利回り 0.02% ⇒ 0.17%（+0.15%）
その他	6	268	508	240	
資金調達費用	7	1,554	3,407	1,853	総資金利鞘 0.29%（+0.04%）
預金等利息	8	387	2,661	2,274	
その他	9	1,167	745	△ 422	
役務取引等利益	10	2,809	2,772	△ 37	
役務取引等収益	11	4,653	4,704	51	法人ビジネス関係+354、アセットビジネス△369
" 費用	12	1,844	1,932	88	
その他業務利益	13	△ 4,703	△ 1,620	3,083	国債等債券損益（5勘定戻）+1,887
経費	14	9,979	10,240	261	人件費+289、物件費+88、税金△115
実質業務純益	15	2,212	6,077	3,865	
信用コスト	16	17	1,335	1,318	前期からの反動による増加
一般貸倒引当金繰入額	17	－	205	205	
個別 " "	18	－	674	674	
債権売却損等	19	105	455	350	
貸倒引当金戻入益（△）	20	88	－	△ 88	
その他の臨時損益	21	3,420	1,882	△ 1,538	
経常利益	22	5,613	6,619	1,006	
特別損益	23	△ 111	△ 175	△ 64	△要因：固定資産処分損+43、減損+53
税引前当期純利益	24	5,502	6,444	942	
法人税等・法人税等調整額	25	1,467	1,644	177	
当期純利益	26	4,035	4,799	764	
対顧客利益（4-8+10-14）	27	2,954	3,345	391	

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

※（）内は前年比の数値です

1. 2025年度中間期損益の状況（つづき）

【単体】

業務純益についての補足説明

（単位：百万円）

項目	No.	2024年度中間期	2025年度中間期	前年比	備考
業務純益（2+12）	1	2,212	5,872	3,660	
実質業務純益（3+11）	2	2,212	6,077	3,865	
コア業務純益	3	4,632	6,610	1,978	
資金利益	4	14,085	15,165	1,080	貸出金利息+2,962、有価証券利息△273
役務取引等利益	5	2,809	2,772	△37	保険窓販手数料、法人コンサル関係手数料等
その他業務利益【除く国債等関係損益】	6	△2,283	△1,088	1,195	
外国為替売買損益	7	△3,018	△1,303	1,715	
その他	8	735	215	△520	
経費（△）	9	9,979	10,240	261	
コア業務純益（投信解約損益除く）	10	4,489	6,003	1,514	投信解約損益 2024年度:143、2025年度:607
国債等関係損益（5勘定戻）	11	△2,419	△532	1,887	
一般貸倒引当金繰入額（△）	12	0	205	205	
臨時損益	13	3,403	751	△2,652	
うち 株式等関係損益（3勘定戻）	14	3,022	1,386	△1,636	
うち 与信費用【除く一般貸倒引当金】	15	105	1,130	1,025	
経常利益（1+13）	16	5,613	6,619	1,006	

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

1. 2025年度中間期損益の状況（つづき）

【単体】

（単位：百万円）

	2024年度 中間期	2025年度 中間期	前年比	増減要因
経常収益	24,914	25,486	+572	+要因：貸出金利息+2,962、役務収益+51 △要因：預金等利息+2,274
経常利益	5,613	6,619	+1,006	+要因：対顧客利益+391、市場部門+1,912 △要因：信用コスト+1,318、政策株△293
うち 預貸金利息収支差	10,125	10,813	+688	
△ 貸出金利息	10,512	13,474	+2,962	増減要因分析：残高要因 +797、利回り要因 +2,165
△ 預金等利息	387	2,661	+2,274	増減要因分析：残高要因 +3、利回り要因 +2,270
△ 役務取引等利益	2,809	2,772	△ 37	
△ 役務取引等収益	4,653	4,704	+51	法人ビジネス関係+354、アセットビジネス△369
△ 役務取引等費用	1,844	1,932	+88	住宅ローン等保険料+42、支払為替手数料+48
△ 市場部門（政策株除く）	985	2,897	+1,912	
△ 有価証券利息配当金	4,540	4,522	△ 18	外貨建外債△555、株式投信+264、短期資金+225、国内債+64
△ 債券等売却損益	415	481	+66	国内債+602、外貨建外債+406、外債投信+351、株式投信△1,349
△ 特定金銭信託	△ 134	△ 105	+29	
△ 外貨調達コスト	3,835	2,002	△ 1,833	
△ 経費	9,979	10,240	+261	人件費+288、物件費+87、税金△115
△ クレジットコスト	17	1,335	+1,318	
△ 株式売却損益・減損	3,022	1,386	△ 1,636	
特別損益	△ 111	△ 175	△ 64	社宅・店舗の減損等
税引前当期純利益	5,502	6,444	+942	
法人税等・法人税等調整額	1,467	1,644	+177	
当期純利益	4,035	4,799	+764	

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

※要因は主なもののみ記載しております。

2. 対顧客利益の推移

【単体】

(単位：百万円)

項目	No.	2023年度9月中間期		2024年度9月中間期		2025年度9月中間期	
			前年比		前年比		前年比
対顧客利益 (2+5-6)	1	2,457	+628	2,954	+497	3,345	+391
預貸金利息	2	9,923	+642	10,125	+202	10,813	+688
貸出金利息	3	9,996	+464	10,512	+516	13,474	+2,962
預金等利息	4	73	△ 177	387	+314	2,661	+2,274
役務利益	5	2,434	+189	2,809	+375	2,772	△ 37
経費	6	9,900	+203	9,979	+79	10,240	+261

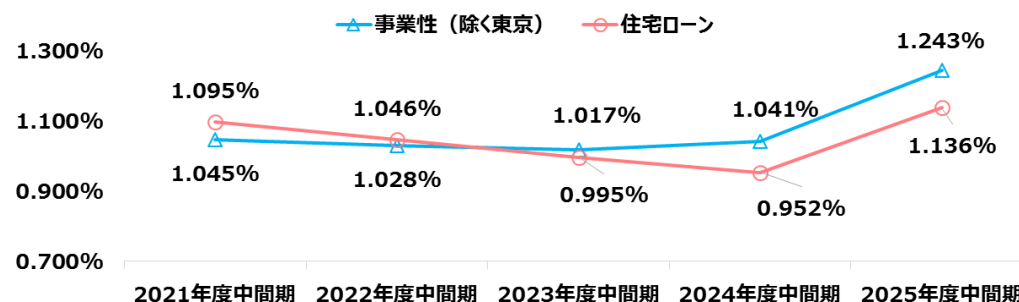
※対顧客利益：預貸金利息＋役務利益－経費

3. 預貸金の状況（2025年度中間期実績）

預金

		(億円)		
		2024年度中間期	2025年度中間期	前年比
預金等全体	平残	29,440	29,507	+67
	利回り	0.026%	0.179%	+0.153%
	利息	3	26	+23
うち個人預金	平残	18,045	18,040	△5
うち法人預金	平残	8,117	8,178	+61

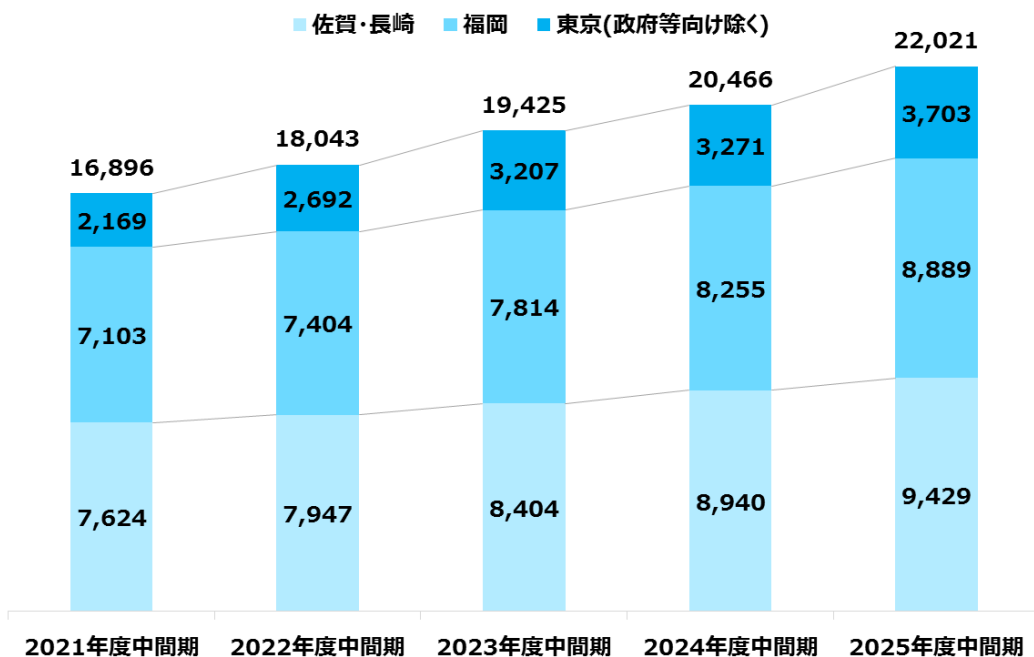
貸出金利回り



貸出金

		2024年度中間期	2025年度中間期	前年比
貸出金全体	平残	21,197	22,659	+1,462
	利回り	0.989%	1.186%	+0.197%
	利息	105	134	+29
うち事業性	平残	12,145	13,074	+929
	利回り	0.914%	1.148%	+0.234%
	利息	55	75	+20
除く東京	平残	9,842	9,989	+147
	利回り	1.041%	1.243%	+0.202%
	利息	51	62	+11
うち住宅ローン	平残	4,666	5,057	+391
	利回り	0.952%	1.136%	+0.184%
	利息	22	28	+6
うち消費者ローン	平残	366	372	+6
	利回り	7.848%	7.646%	△0.202%
	利息	14	14	+0

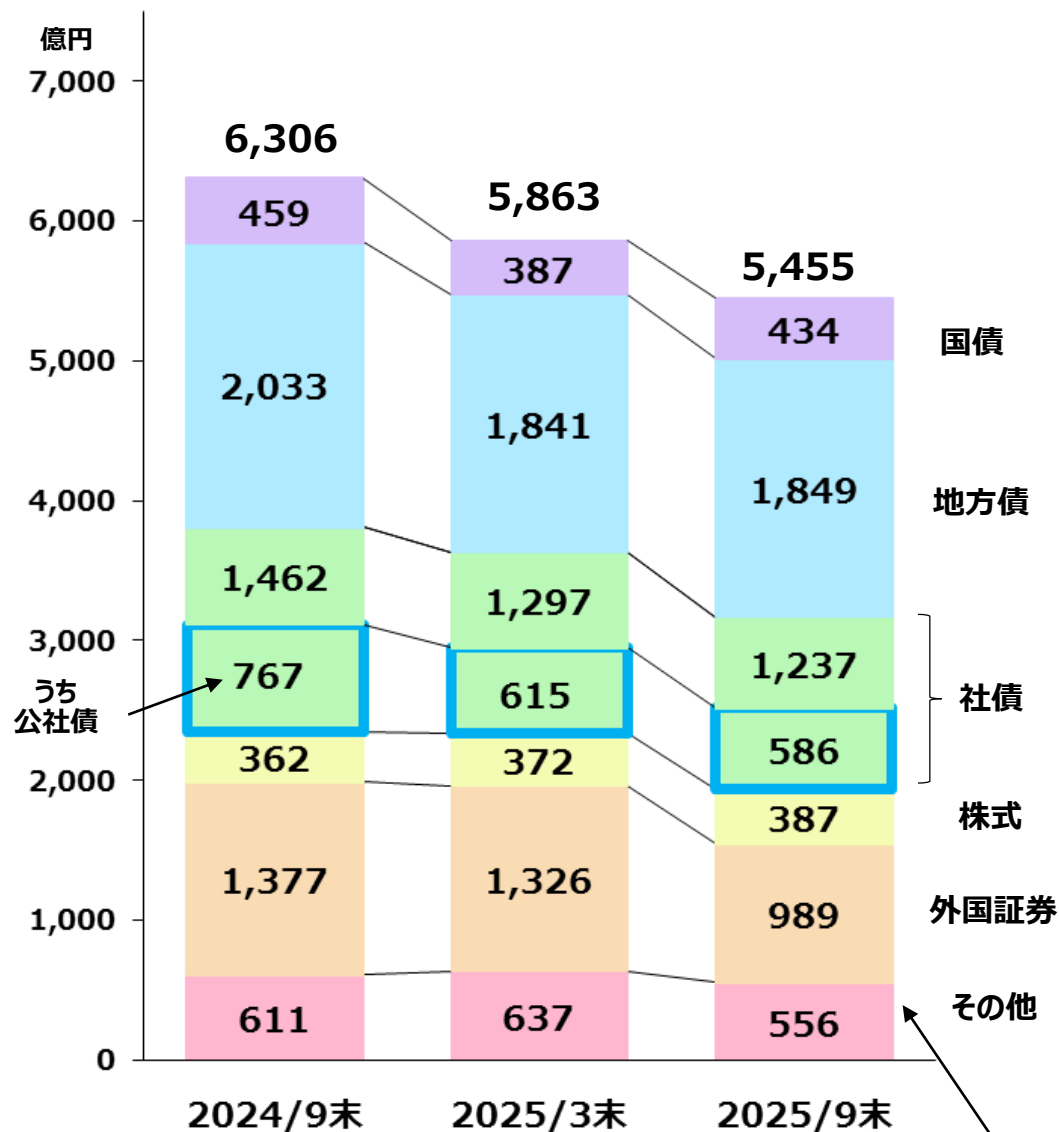
地域別貸出金推移



※上記は管理会計上の計数を使用しております。

4. 有価証券の状況

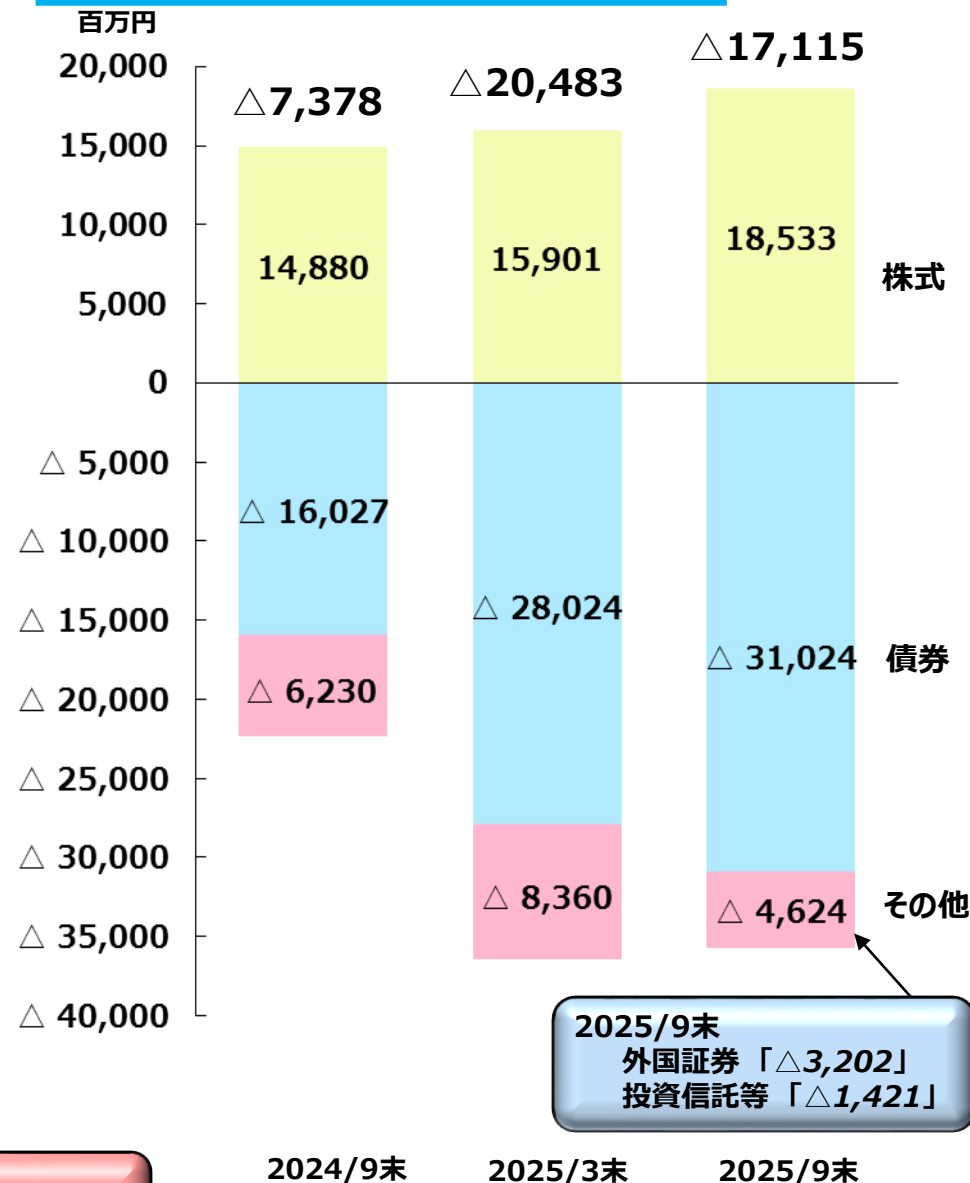
有価証券残高（B S計上額）



※億円未満は切り捨てて表示しております。
※その他は主に投資信託。

「その他」の内訳
REIT 128 その他の投資信託 386
投資事業組合 42

「その他有価証券」の評価損益

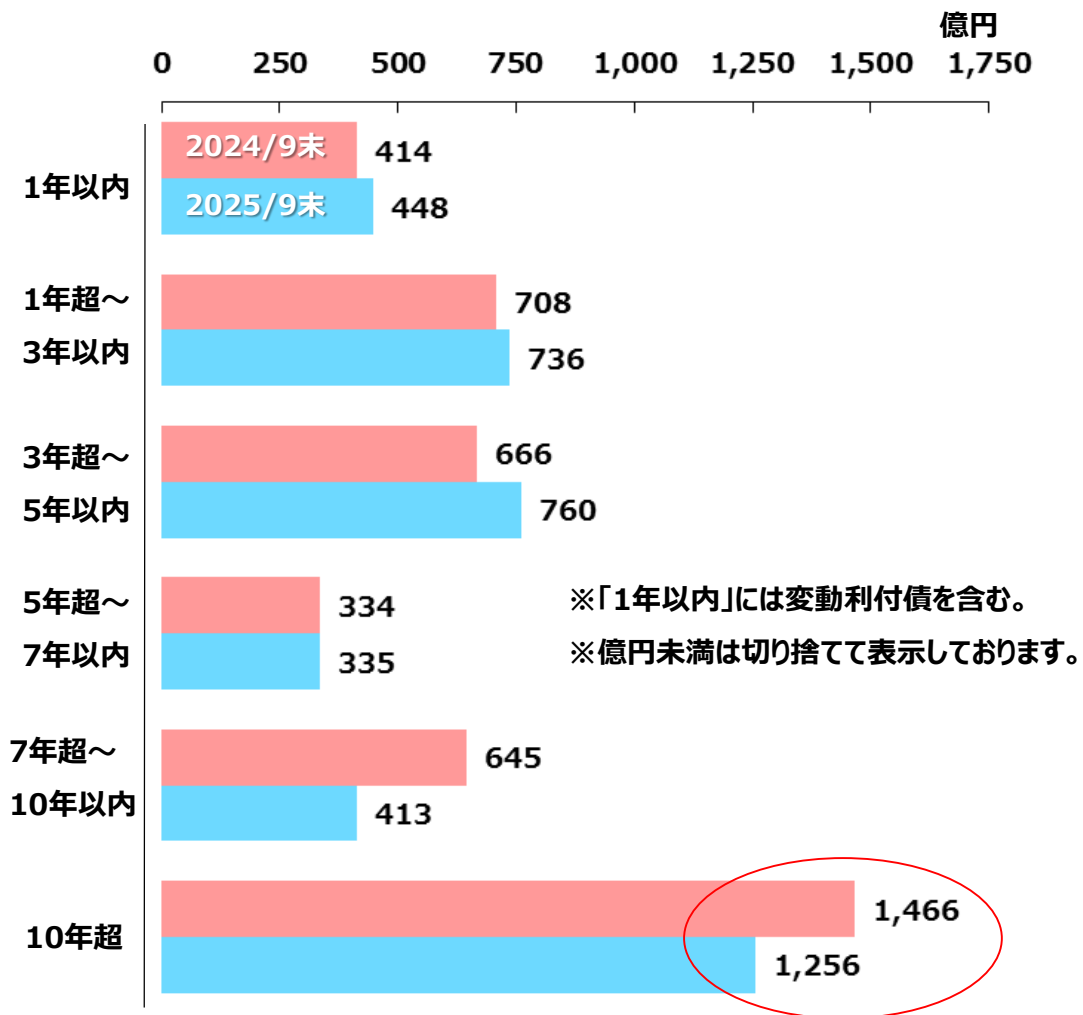


2025/9末
外国証券「△3,202」
投資信託等「△1,421」

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

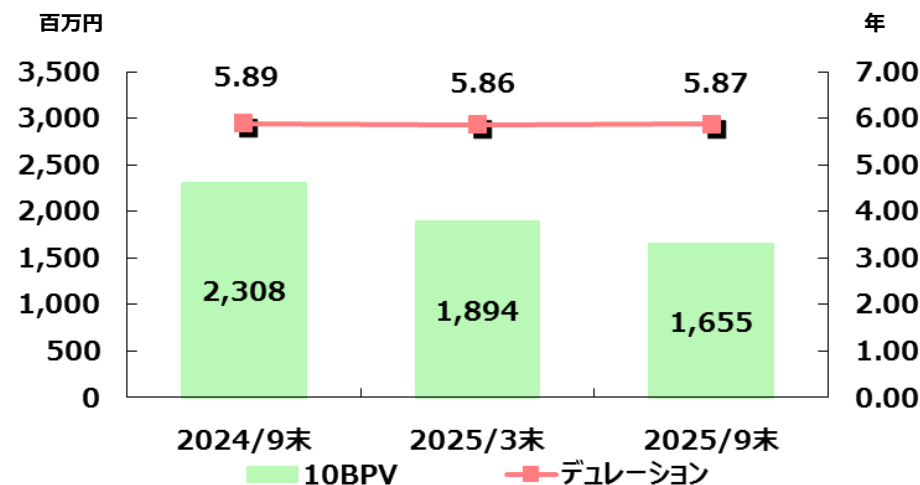
4. 有価証券の状況（つづき）

円建債券の残存期間別簿価残高



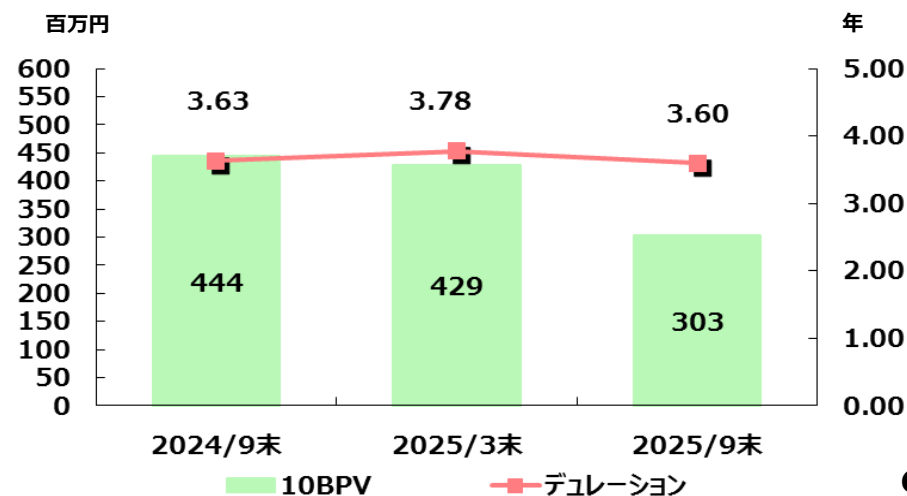
残存期間10年超は主に定時償還地方債やRMBS（住宅ローン担保証券）

円建債券のデュレーションと10BPV



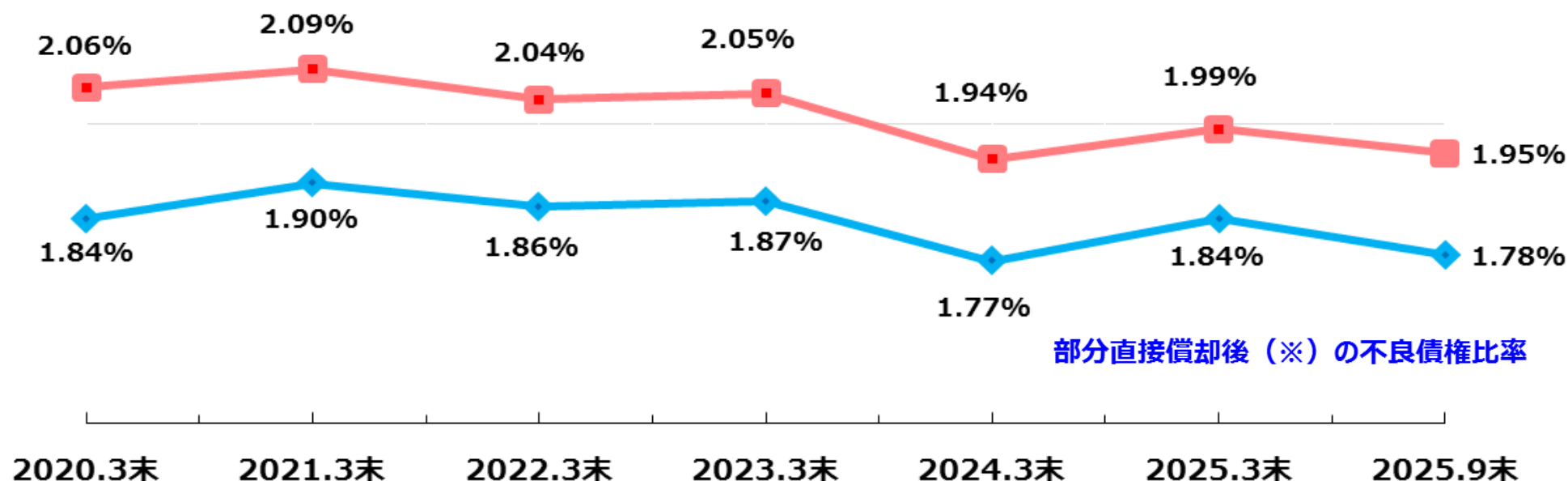
※ デュレーションおよび10BPVはヘッジ考慮後にて算出。

外貨建債券のデュレーションと10BPV



5. 不良債権比率の推移

不良債権比率（部分直接償却：未実施）



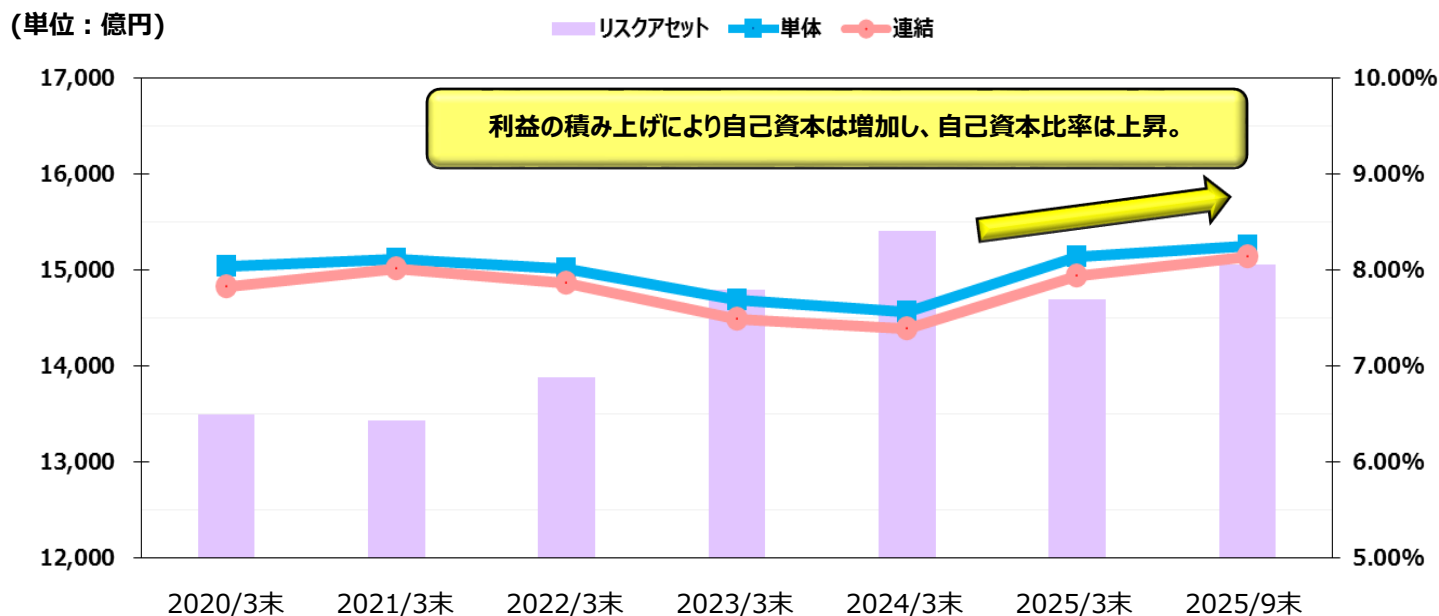
※部分直接償却とは

自己査定により回収不可能又は無価値と判定した担保・保証付債権等について、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額（IV分類金額）を取立不能見込額として債権額から直接減額すること。

※当行は「部分直接償却」を実施していないため、IV分類金額と同額の貸倒引当金を計上しております。

6. 自己資本比率の推移

【単体】		(単位：百万円)		【連結】	(単位：百万円)	
		2025/3末	2025/9末	(2025/3末比)	2025/3末	2025/9末
自己資本	A	119,421	124,148	+4,727	117,773	123,723
リスクアセット	B	1,468,690	1,504,771	+36,081	1,482,092	1,520,056
自己資本比率 (C=A/B)	C	8.13%	8.25%	+0.12%	7.94%	8.13%
					(2025/3末比)	
						+5,950
						+37,964
						+0.19%



【自己資本】

2025年9月期は2025年3月期と比べ、利益の積み上げ等により、自己資本が増加しました。

【リスクアセット】

2025年9月期は2025年3月期と比べ、貸出金の増加等によりリスクアセットは増加しました。

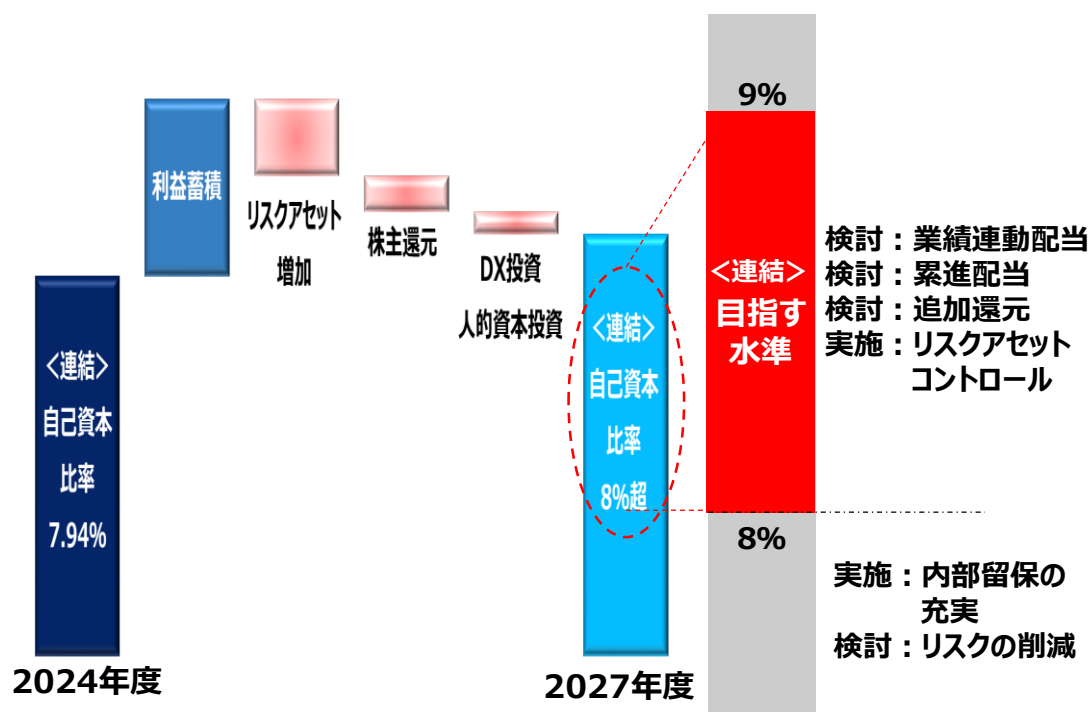
※信用リスクは「標準的手法」、オペレーショナルリスクは「標準的計測手法」。

7. 株主還元について

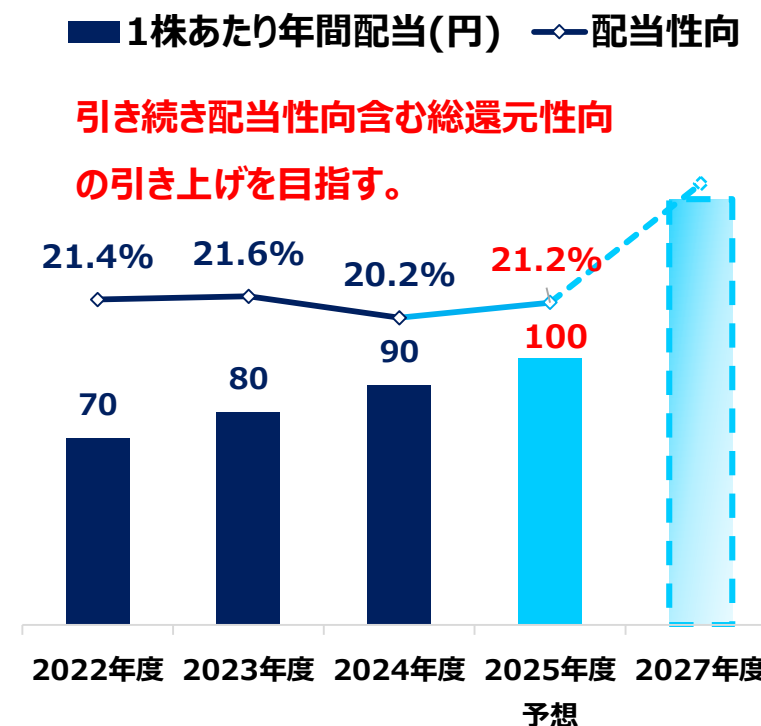
- ◆ 2025年度中間期における業績は**当初予想を上回る実績**となりました。
- ◆ 自己資本比率についても第18次中期経営計画で掲げる**計画通りに進捗**していることを踏まえ、株主還元を強化すべく、**増配（年間配当+10円）を実施**いたしました。
- ◆ 今後も経営の健全性と株主価値向上の両立を図り、資本の充実度に応じて追加還元を検討して参ります。

キャピタルアロケーションと株主還元の方向性

【キャピタルアロケーションの考え方】



【株主還元の実績と方向性】



【お問い合わせ先】

株式会社 佐賀銀行

総合企画部

T E L 0 9 5 2 - 2 5 - 4 6 1 7

本資料に記載された将来の予測等は資料作成時点の当行の判断であり、将来の業績等を保証するものではありません。

今後、経営環境の変化などにより、変更される可能性があることにご留意ください。

また、本資料は当行の財務状況および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。